

## 感謝の気持ちを伝えよう（生活目標）

3月になってしまいました。今年度最後の月です。子どもたちが学校に来るのもわずかとなりました。

子どもたちには、学習のまとめはもちろんですが、心のまとめをしてほしいと思います。

今月の生活目標は、『お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えよう』です。

子どもたちには、一年を振り返り、どんなところで、どんな人の支えがあったのかを考えて、感謝の気持ちをもってほしいと思います。

そして、感謝の気持ちをどのようにして伝えるとよいでしょうか。

宮澤章二さんの『行為の意味』を紹介します。それぞれの心や思いは見えないけれど、心づかみや行為は見えるということです。

平荘っ子の一人一人の心が見える化できるといいなと思います。




### 生活目標

かんしゃ  
感謝の気持ちを伝えよう

せわ  
お世話になった人たちに

三月



『こころ』は見えないけれど、『こころづかい』は見えるのです。  
 『思い』は見えないけれど、『思いやり』は見えるのです。

『行為の意味』  
宮澤 章二

あなたの〈こころ〉はどんな形ですか  
 とひとに聞かれても答えようがない  
 自分にも他人にも〈こころ〉は見えない  
 けれど、ほんとうに見えないのであろうか  
 確かに〈こころ〉はだれにも見えない  
 けれど〈こころづかい〉は見えるのだ  
 それは、人に対する積極的な行為だから  
 同じように胸の中の〈思い〉は見えない  
 けれど〈思いやり〉はだれにも見える  
 それも人に対する積極的な行為なのだから  
 あたたかい心が あたたかい行為になり  
 やさしい思いが やさしい行為になるとき  
 〈心〉も〈思い〉も 初めて美しく生きる  
 それは、人が人として生きることだ

※宮澤 章二『行為の意味』参照

## いぶき・わかばカフェを開きました（NO.1）

3月1日（金）に、日頃お世話になっている方々をお招きして、『いぶき・わかばカフェ』を開きました。最初に、体育館で、フラッグと和太鼓の演技を観ていただきました。その後、場所を移動していただき、わかば学級で『いぶき・わかばカフェ』を行いました。お客様を案内する人、手作りのさつまいもケーキをお土産に渡す人、お客様に飲み物を選んでいただく人、飲み物を用意する人、飲み物とさつまいもケーキを席まで運ぶ人、いぶき・わかばカフェの進行をする人等、自分の役割をしっかりと果たすことができました。

一年の最後に、お世話になった方々に、しっかりと感謝の気持ちを伝えることができました。お招きした方々には、子どもたちを温かく見守って頂き、大変感謝しております。子どもたちは、温かい雰囲気の中、生き生きと活動することができました。





演技が始まるまでの間、子どもたちは、招待した方々と共に『しりとり』をしました。「『な』・・・?」「『な』の付く言葉には何かあるかなあ??助けて～」とヘルプ! みんなで一緒に考えました。とても和やかな会場でした。



子どもたちの「いらっしゃいませ。どうぞお入りください。」という元気な声が聞こえました。